

タテのカギ

- ② (雲量) 0～1 快晴。2～8 晴れ。9～10 くもり。
- ④ (夕焼け) 朝焼けは雨。自然現象や生物の行動などから天気の変化を予測することを観天望気という。
- ⑤ (アネロイド気圧計) 高度を目盛れば高度計にもなる。気圧はイタリアのトリチェリが水銀気圧計を使って初めて観測した。気象庁では日ごろ電気式気圧計を使用している。
- ⑧ (気圧) 大気圧。地球をとり巻く大気の重さにより生じる。大気中の物体にあらゆる方向から垂直にはたらく圧力。上空ほど小さい。
- ⑩ (ヘクトパスカル) 気圧の単位で記号は hPa で表す。ヘクトは 100 を表す。1hPa=100Pa である。高度 0m での標準的な気圧の大きさを 1 気圧とよぶ。1 気圧=1013.25hPa と定められている。
- ⑪ (にわか雨) 天気記号は●☂で表す。
- ⑭ (降水量) ミリメートル (mm) で表す。例えば、「1 時間で 100 ミリの降水量」は、降った雨がそのままたまった場合、1 時間で雨が水深 10 cm になるということ。
- ⑯ (温度計) 地上およそ 1.5m の高さに感温部を置き、直射日光が当たらないようにして測定する。
- ⑰ (天気図記号) さまざまな気象要素を表す。

ヨコのカギ

- ① (南西) 風向は風上の方角で表す。「北の風」は北から南へ吹く風。「西南西」の風は東北東へ吹く風。方向は 16 方位で表す。
- ③ (上昇気流) くもりや雨になることが多い。地表付近では、まわりから中心に向かって反時計まわり (左回り) に風が吹き込む。天気図では低気圧の中心に「低」または「L」と書く。
- ⑥ (矢羽根) 風は矢のはじから記号の中心部に向かう。
- ⑦ (高気圧) 下降気流。地表付近では、中心からまわりに向かって時計まわり (右回り) に風が吹き出す。天気図では高気圧の中心に「高」または「H」と書く。
- ⑨ (湿度) 乾湿計 (乾球温度計と湿球温度計が 2 本並んだ器具) を用いる。
- ⑫ (等圧線) 気圧が同じ地点を結んだ曲線。1000hPa を基準として、4hPa ごとに実線で引く。20hPa の倍数になる等圧線は太い線で引く。
- ⑬ (パスカル) 単位面積を垂直に押す力を圧力という。力が加わる面積が小さいほど圧力は大きくなる。圧力 [Pa] = 面を垂直に押す力 [N] ÷ 力がはたらく面積 [m²] で求める。1Pa=1N/m²
- ⑮ (風力) 0～12 の 13 階級。風は気圧の高い所から低いところに向かって吹き、等圧線の間隔がせまいところほど風力が強くなる。
- ⑯ (天気記号) 晴、くもり、雨、雪などの記号を書いてみよう。